

メタリングレバー高さの調整方法

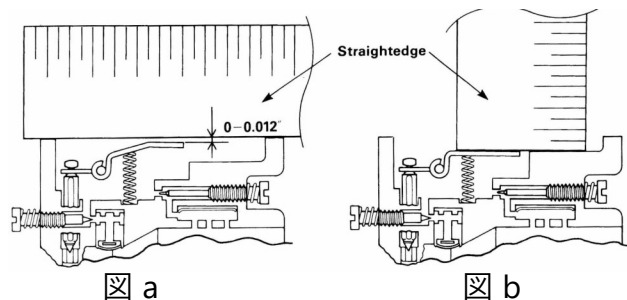
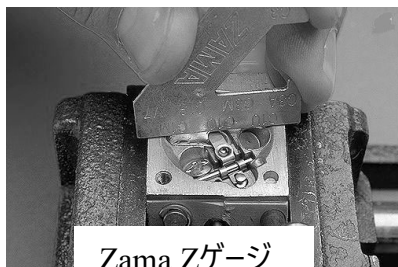
- インレットニードル、メタリングスプリング、メタリングレバー、ピン及び留めネジを取り付けます。
- メタリングレバーを調整します。Zゲージは全機種を調整できるよう設計されています。ボディに対して、調整機種で指示される方向にゲージを持ちます。メタリングレバーの端がゲージに触れる位に調整します。もしくは下図のように直線定規を使用することもできます。

(A) メタリングレバーが図aと同じ形状の場合、キャブレター本体を横切るように直線定規または Zama Z ゲージを置きます。

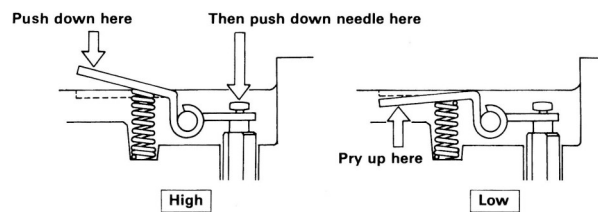
メタリングレバーの自由端は、0 ~ 0.3 mm — 0 ~ 0.012インチ で、直線定規より低くなるよう調整してください。

(B) メタリングレバーが図bのような形状の場合、メタリングレバーの自由端はキャビティ底面と同じ高さになるよう調整します。(ボディのメタリングガスケットフランジより1.7mm ~ 2.0 mm — 0.067インチ ~ 0.078インチ低くします)

注：C3タイプの場合、図aの値は、0.039インチ~0.051インチとなります。



- メタリングレバーが高すぎるときは、レバーの端面を押し下げてから慎重にインレットニードルを押し下げてください。またメタリングレバーが低すぎるときは、レバーの自由端を慎重に持ち上げてください。



- メタリングレバースプリングがダイカストポケットの座面及びメタリングレバーの窪みに納まっていることを確認してください。





ZAMA Zゲージ P/N ZT-1